

## 1 この科目の構成について

教 科	数学	科 目	数学Ⅱ	単 位	4単位
対象コース	カレッジ文系	対象クラス	3年4組		
使用教科書	新編数学（第一学習社）				
使用副教材	スタディⅠ＋A（第一学習社）				

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	・数学Ⅰ・Aの基本事項を復習し、実践問題に応用するための土台作りをします。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	・数学Ⅰ・Aの復習
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 ・問題集で演習し、解答解説をします。 (2) 家庭 ・宿題は授業時間内でやれなかった問題を解くことになります。確実に解いて疑問点を解消しておきましょう。 ・長期の休み等における課題は、休みに入る前に指示します。

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
	(1) 定期考査 … 年に4回の定期考査を実施します。授業中にやったところまでが試験範囲となります。評点は考査60点、平常点40点で算出します。評定や本評定は「数学Ⅱ」と「数学B」の2科目分がつかます。 (2) ノート等 … 授業中のプリントなどの記入整理状況を点数化します。 (3) 授業態度 … 授業態度・課題の提出状況や出席率を点数化します。

評価における定期考査の割合
60%

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	(1) 関心・意欲・態度 各分野の考え方に関心を持ち、意欲的に取り組んでいるかは、授業への出席状況・授業への取り組み姿勢・課題の提出場を見ます。 (2) 思考・判断 授業の各分野において、単に計算ができるだけでなく、より効率的な解法はどのようなものであるかを考えているかを見ます。 (3) 技能・表現 答案作りにおいて、倫理的かどうか。また、各分野において、事象を数学的に考察し、表現し、処理する仕方や持論の方法を身に付け、的確に問題が解決できるかどうかを見ます。 (4) 知識・理解 各分野の定理・法則・用語を理解し、基礎的分野が身に付いているかは、定期考査で判断します。

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容		関	思	技	知			
1	4	【数学Ⅰ・Aの復習】									
		「数学Ⅰ」 1章 数と式	1節-1. 整式	～ 4節-4. 証明法	●	●	●	●			
		5	2章 2次関数	1節-1. 関数	～ 3節-7. 連立不等式	●	●	●	●		
		6	3章 図形と計量	1節-1. 三角比	～ 2節-4. 正弦定理と余弦定理	●	●	●	●		
	7	4章 データの分析	1節-1. 代表値	～ 1節-5. 相関係数	●	●	●	●			
	8										
	9	「数学A」 5章 場合の数	1節-1. 集合	～ 2節-7. 同じものを含む順列	●	●	●	●			
	10		道徳教育：集合を利用し、考え方の異なる人間の集まりの関係を指導します								
	11	6章 確率	1節-1. 事象の確率	～ 2節-3. 条件付き確率	●	●	●	●			
	12		道徳教育：確率的な考え方でものごとを捉えられるよう指導します。								
	1	7章 整数の性質	1節-1. 倍数・約数, 倍数の判定	～ 3節-2. 記数法	●	●	●	●			
	1	8章 図形の性質	1節-1. 三角形と比	～ 4節. 空間図形	●	●	●	●			